

緩和医療関連用語集

2025年12月 日本緩和医療学会用語委員会

日本緩和医療学会の用語集は、緩和医療の臨床実務、教育、研究において共通の用語を提供し、チーム医療の円滑な連携と患者・家族への適切な情報提供を支援することを目的とする。

本用語集は、基本的に用語委員会で議論になった用語を掲載することとする。本学会の用語委員会は他の学会のように何千、何万単位の用語を収録した用語集を一から作成することが困難であるため、他の委員会や学会員から要望があった用語や日本医学会の用語委員会で議論された用語を当委員会で検討して、パブリックコメントを得たのち、用語集に掲載する。

用語集の掲載基準を以下に定める。

掲載対象

診断名：医学的に定義される病態・疾患（ICD-11を原則参照）

症状名：患者の訴えや臨床所見（ESAS等症状評価指標を参照）

治療方法名：処置・薬剤の種別など（治療指針、薬効分類に基づく）

基準区分

- ◎ 推奨：標準語として使用を推奨する
- 準用：通常使用される用語 使用して良い
- △ 参考：慎重に使用されるべきだが、補足的な価値がある
- × 推奨しない：使用実態が乏しい、もしくは現在使用していない医学用語
混乱を招く可能性があるため使用しない

日本緩和医療学会用語委員会

2025年12月更新

区分1	区分2	用語	分類	英語表記
	他学会用語集収録語の場合、 学会名 *間違いではないが当学会 推奨語の使用をすすめる	当学会の演題登録の際は 以下の用語を参考に登録 *原則、漢字を中心に使用 *略語は可能	◎推奨：標準語として 使用を推奨する ○準用：通常使用される 用語 使用して良い △参考：慎重に使用される べきだが、補足的な価値 がある ×推奨しない：使用実態が 乏しい、もしくは現在 使用していない医学用語 混乱を招く可能性がある ため使用しない	英語表記は原則、避ける (略語は可)
痛みの性質		アロディニア	◎	
痛みの性質		異痛症	○	
痛みの性質		慢性痛	◎	
痛みの性質	慢性疼痛診療ガイドライン	慢性疼痛	◎	
痛みの性質		急性痛	◎	
痛みの性質		急性疼痛	◎	
痛みの性質		がんの痛み	◎	cancer pain
痛みの性質		がん疼痛	◎	cancer pain
痛みの性質	ペインクリニック学会	がん性痛	○	
痛みの性質		非がんの痛み	◎	
痛みの性質		関連痛	◎	referred pain
痛みの性質		がん関連疼痛	◎	cancer-related pain
痛みの性質		がん疼痛およびがん治療関連疼痛	○	cancer-related pain
痛みの性質		がん治療関連疼痛	◎	cancer treatment-related pain
痛みの性質	ペインクリニック学会	遠隔痛	○	
痛みの性質	ペインクリニック学会	神経障害性疼痛	◎	
痛みの性質		神経障害痛	○	
痛みの性質		ニューロパシクペイン	○	

痛みの性質		神経因性疼痛	×	
痛みの性質		ニューロジェニックペイン	×	
痛みの性質		随伴痛	◎	incident pain
痛みの性質		体動時痛	◎	
痛みの性質		動作時痛	○	
痛みの性質		定時鎮痛薬の切れ目の痛み	◎	end-of-dose failure
痛みの性質		突出痛	◎	breakthrough pain
痛みの性質		持続痛	◎	background pain
痛みの性質		発作痛	◎	episodic pain
痛みの性質		エピソード性疼痛 ※1	○	episodic pain
痛みの性質		痛覚変調性疼痛	◎	nociceptive pain
痛みの性質	ペインクリニック学会	一次感覚ニューロン	◎	primary sensory neuron
痛みの性質		一次知覚ニューロン	○	primary sensory neuron
鎮痛薬	ペインクリニック学会	WHO方式3段階除痛（鎮痛）ラダー	◎	
鎮痛薬		ガバベンチノイド	◎	
鎮痛薬		徐放（性）製剤	◎	
鎮痛薬		セロトニン・ノルアドレナリン 再取り込み阻害薬	◎	
鎮痛薬		選択的COX-2阻害薬	◎	
鎮痛薬		選択的セロトニン再取り込み阻害薬	◎	
鎮痛薬		速放（性）製剤	◎	SAO (Short Acting Opioid)
鎮痛薬		即効（性）製剤	◎	ROO (Rapid Onset Opioid)
鎮痛薬		レスキュー薬	◎	
鎮痛薬		レスキュー	◎	
鎮痛薬	ペインクリニック学会	オピオイド	◎	opiod
鎮痛薬	ペインクリニック学会	オピオイド鎮痛薬	◎	opiod analgesic
鎮痛補助薬		NMDA受容体拮抗薬	◎	
鎮痛補助薬		抗うつ薬	◎	
鎮痛補助薬		抗鬱薬	○	
鎮痛補助薬		抗けいれん薬	◎	
鎮痛補助薬		抗痙攣薬	○	
鎮痛補助薬		抗精神病薬	◎	
鎮痛補助薬		向精神薬 (抗精神病薬、抗うつ薬、抗不安薬などを 含めた総称)	◎	
鎮痛補助薬		抗不整脈薬	◎	
鎮痛補助薬		制吐薬	◎	
鎮痛補助薬		コルチコステロイド	◎	corticosteroid
鎮痛補助薬		副腎皮質ステロイド	○	corticosteroid
がん性症候群		悪性腸腰筋症候群	◎	
がん性症候群		化学療法誘発性末梢神経障害	◎	CIPN
がん性症候群		糖尿病性末梢神経障害	◎	
がん性症候群		糖尿病性ニューロパシ（チ）ー	○	
がん性症候群		ホルネル症候群	◎	
がん性症候群		悪液質	◎	cachexia cachectic
がん性症候群		がん性悪液質	○	cancerous cachexia
がん性症候群		カヘキシア	○	cachexia
がん性症候群		サルコペニア	◎	sarcopenia
がん性症候群		フレイル	◎	frailty

がん性症候群		ロコモティブシンドローム (ロコモ)	◎	locomotive syndrome
がん性症候群		運動器症候群	◎	locomotive syndrome
投与に関して		オピオイド換算表	◎	
投与に関して		オピオイドスイッチング	◎	
投与に関して		オピオイドローテーション	○	
投与に関して		持続一注入	◎	
投与に関して		持続一投与	◎	
投与に関して		等鎮痛量	◎	
投与に関して		持続皮下注射	◎	continous subcutaneous injection:CSI
投与に関して		自己調節鎮痛法	◎	patient controlled analgesia:PCA
投与に関して		皮下埋め込みくも膜下ポート	◎	
投与に関して		皮下埋め込み硬膜外ポート	◎	
副作用に関して		化学受容器引き金帯	◎	CTZ
副作用に関して	ペインクリニック学会	化学受容体引き金帯	○	
基礎研究系		NMDA受容体拮抗薬	◎	
基礎研究系		オピオイド受容体	◎	
基礎研究系		NMDA受容体	◎	
基礎研究系		下行性抑制系	◎	
基礎研究系		下行性疼痛抑制系	○	
基礎研究系		κ オピオイド受容体	◎	
基礎研究系		カナビノイド	◎	
基礎研究系		カルシウムチャンネル $\alpha 2\delta$ リガンド	◎	
基礎研究系		δ オピオイド受容体	◎	
基礎研究系		μ オピオイド受容体	◎	
臨床腫瘍学		腫瘍崩壊症候群	◎	
医療倫理		DNAR	◎	do not attempt resuscitation
医療倫理		DNR	△	do not resuscitate
医療倫理		事前指示	◎	advance directive
医療倫理		アドバンス・ケア・プランニング (ACP)	◎	advance care planning
医療倫理		共同意思決定	◎	shared decision making
医療倫理		シェアード・ディシジョン・メイキング	◎	shared decision making
医療倫理		ゴールコンコラダントケア	◎	goal-concordant care
遺伝学		顕性遺伝	◎	
遺伝学		潜性遺伝	◎	
遺伝学		優性遺伝	×	
遺伝学		劣性遺伝	×	
がん治療		顎骨壊死	◎	ONJ (osteonecrosis of the jaw)
がん治療		ベストサポーティブケア ※2	◎	BSC (best supportive care)
薬剤		便秘治療薬	◎	
薬剤		緩下剤	○	laxative
薬剤		下剤	△	laxative
薬剤		刺激性下剤	○	stimulant laxative
症状		呼吸困難	◎	
症状		呼吸困難感	×	
症状		呼吸苦	×	

症状		息切れ	◎	
症状		悪心・嘔吐	◎	
症状		悪心	◎	nausea nauseous
症状		吐き気	◎	nausea nauseous
症状		嘔気	×	
症状		嘔吐	◎	vomiting emesis
症状		悪性腹水	◎	
症状		便秘	◎	constipation obstipation
症状		溢流性便秘	○	
症状		宿便	◎	fecal impaction impacted feces
症状		硬便	◎	hard stool
症状		水様便	◎	liquid stool watery stool
症状		食欲不振	◎	loss of appetite
症状		食欲低下	○	decreased appetite
症状		食思不振	×	
鎮静		苦痛緩和のための鎮静	◎	palliative sedation
鎮静		鎮静	◎	sedation
鎮静		セデーション	△	sedation
鎮静		間欠的鎮静	◎	intermittent sedation
鎮静		持続的鎮静	◎	continuous sedation
鎮静		調節型鎮静	◎	proportional sedation
鎮静		持続的深い鎮静	◎	continuous deep sedation
鎮静		浅い鎮静	○	
鎮静		深い鎮静	○	
鎮静		耐えがたい苦痛	◎	intolerable symptom
鎮静		治療抵抗性の苦痛	◎	refractory symptom

※1 episodicは、一時的に、あるいは不規則な間隔で起こる様子、発作的なという意味を持つ。

エピソード性疼痛（episodic pain）は、一時的に発生し、その後消失する「発作的な痛み」のことを指す。

※2 Best Supportive Care（BSC）は、臨床試験では非抗がん治療群を指すことがあるが、日常診療ではがん治療の有無を問わず患者の生活の質を支える医療を指す。積極的治療中止を意味する用語ではない。